

平成 23 年 10 月 19 日

第 47 回福大祭の開催 Peaceful ~ 福島より愛をこめて ~

第 47 回福大祭実行委員会
実行委員長 西舘 健
広報局長 小池 優介

1, 第 47 回福大祭開催に関して

初めに、この度の東日本大震災で亡くなられた方々のご冥福をお祈りしますとともに、被災者の皆様に心よりお見舞い申し上げます。一日も早い復旧・復興がなされますことを祈っております。

さて、今年も皆様の御理解・御協力を賜りまして、47 回目となる福大祭を開催することができました。

今年の福大祭実行委員会は『Peaceful ~ 福島より愛をこめて ~』というテーマを掲げて活動して参りました。震災や原発の影響は大きな傷跡を残し、人々の心は深い悲しみや不安に覆われました。そのため、福大祭に来て頂いた方々には、穏やかで温かな気持ちになってもらいたいという想いがテーマに込められています。私たちの力で少しでも皆様に癒しを与えることができれば幸いです。

最後に、第 47 回福大祭の開催にあたり、ご協力頂いたたくさんの方々に実行委員を代表しまして今一度深く感謝を申し上げますとともに、福大祭の成功と皆様の心に残る福大祭になることを切に願ひまして挨拶とさせていただきます。

2, 開催日時

一般公開：10 月 29 日(土) 30 日(日) 両日 9:00 ~

3, 福大祭テーマ・解説

テーマ：Peaceful ~ 福島より愛をこめて ~

解説：Peaceful には、平和な・穏やかな・温和なという意味があります。これは、私たち第 47 回福大祭実行委員会全員の”願い”であり、そしてこれからの福島に対する思いでもあります。このフレーズを使うことになった経緯には、ある一つの出来事がありました。

去る 2011 年 3 月 11 日に発生した「東日本大震災」。私たちの生活に甚大な被害を及ぼした震災の影響は、この福島も例外ではありませんでした。次々と報道される震災のニュースを前に、一時は学祭の開催を危ぶむ声も

多々ありました。しかし、深い悲しみの後に希望の光は必ず現れます。こんな今だからこそ例年通りに学祭を開催することで、来て下さった方々にいつも通りの楽しさを少しでも与えることが、私たち実行委員会の使命なのではないか。これが学祭を続け、かつ「Peaceful」というフレーズを使うことになった理由です。

現在、「震災からの復興」というキーワードを胸に、実行委員 170 人全員が一丸となって第 47 回福大祭に向けて取り組んでおります。ご来場して下さった方々には、そんな私たちの思いをぜひ感じてもらい、いつも以上に楽しい時間を過ごしていただけたらと思います。

4, 主な企画

・お笑いライブ

芸人：アメリカザリガニ，オジンオズボーン，お祭り boy

・講演会「心と体のリラックス」

講師：NPO 法人 日本ゆる協会 Nido さん

・生命のメッセージ展

主催：第 47 回福大祭実行委員会，特定非営利活動法人 いのちのミュージアム

・屋内企画

・屋外企画

・模擬店企画

5, 昨年の様子



門アート



カップアート

(問い合わせ先)

福大祭実行委員会

メール：fukudaisai47th@gmail.com